

地域振興県土警察常任委員会資料

(平成29年6月28日)

[件名]

- 1 島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査の状況等について
(第33報)

(原子力安全対策課) … 1

- 2 鳥取県原子力安全対策プロジェクトチーム会議(コアメンバー)の
開催結果について

(原子力安全対策課) …別冊

- 3 島根原子力発電所1号機廃止措置計画に対する安全協定に基づく中
国電力への回答について

(原子力安全対策課) …別冊

危機管理局

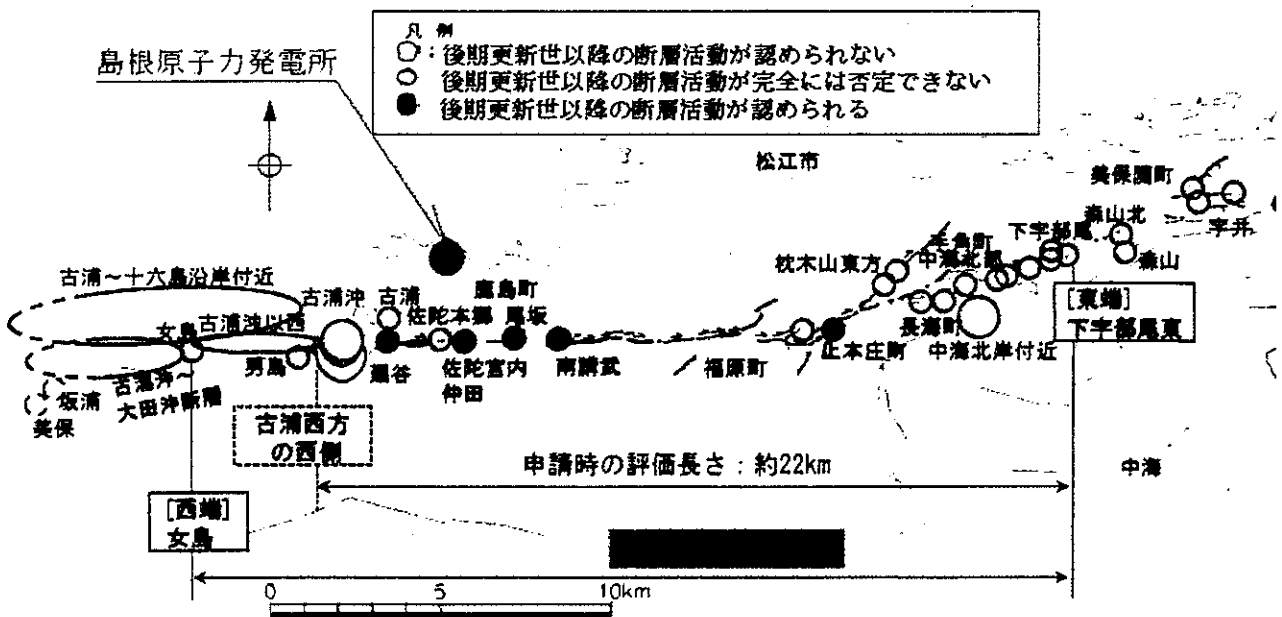
島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査の状況等について（第33報）

平成29年6月28日
原子力安全対策課

平成25年12月25日に申請が行われた島根原子力発電所2号機に係る原子力規制委員会での新規制基準適合性審査会合及び平成28年7月4日に申請が行われた同2号機に係る特定重大事故等対処施設及び所内常設直流電源設備（3系統目）の審査状況等は次のとおりです。

1 新規制基準適合性審査会合
* 前回の報告（平成29年2月24日）以降の審査会合

回数(開催日)	議 題	概 要
84回目 (H29.6.9)	〔地震・津波〕 敷地周辺陸域の 活断層評価（コ メント回答）	<p><中国電力の説明> 83回目の審査会合で、更なるデータの拡充を求められた宍道断層東端（森山付近）において、断層露頭の評価等により後期更新世以降の断層活動が認められず、宍道断層の東端を「下宇部尾東」とする現在の評価は妥当（見直しの必要なし、約25km）であることについて説明が行われた。</p> <p><原子力規制委員会のコメント> 断層の活動性を否定するにはデータが不足しており、特に島根大学が学会発表した評価結果と異なる点等について、更にデータを拡充するようとのコメントがあった。</p> <p>また、このコメントに対する回答を審査する会合の後に、中国電力の評価の妥当性を確認するために、現地調査を実施するとの方針が示された。</p> <p>※宍道断層については引き続き審査</p>



2 特定重大事故等対処施設及び所内常設直流電源設備（3系統目）に係る審査会合
* 前回の報告（平成29年1月19日）以降の審査会合

回数(開催日)	議 題	概 要
開催なし		* 直近は平成28年9月13日の1回目

- (別紙) 1 島根原子力発電所2号機の適合性審査の進捗状況
2 島根原子力発電所2号機の適合性審査会合一覧

島根原子力発電所2号機の新規制基準適合性審査の進捗状況

*斜字：審査済

区分	議題	回数	主な審査の状況等
申請概要等 (4回)		4	主要な論点 (24項目) を規制庁が提示。審査の進め方を確認。
地震対策 (26回)	震源を特定して策定する地震動	16	データ拡充を求められ、H26.5~10及びH27.2~6に追加地質調査を実施。宍道断層の評価長さを約22kmから約25kmに見直し。
	震源を特定せず策定する地震動	1	検討対象16地震の内、鳥取県西部地震と留萌支庁南部地震を対象とし、申請当初より大きな620ガルとすることで済 (審査済)。
	地下構造評価	4	解析モデルは3号機地盤の1次元モデルの採用で済 (審査済)。
	敷地の地質・地質構造	2	敷地内に破砕帯、活断層はないこと、敷地に分布するシームは少なくとも後期更新世以降活動していないことを説明 (審査済)。
	基準地震動	0	—
	耐震設計方針	3	耐震重要度分類の変更について説明。
	地盤・斜面の安定性	0	—
津波対策 (1回)	基準津波	1	鳥取県 (2012) が日本海東縁部に想定した地震による津波及び敷地前面海域の「F-Ⅲ~F-V断層」から想定される地震による津波を基準津波として策定したことを説明。
	耐津波設計方針	0	—
重大事故対策 (32回)	確率論的リスク評価 (PRA)	4	重大事故等対策を実施する前の仮想的なプラント状態において、炉心が損傷し重大事故に至る確率について説明。
	事故シーケンスの選定	3	新規制基準において対策が義務づけられたシビアアクシデント対策の有効性評価を行う事故シーケンスグループの選定について説明。
	有効性評価	12	選定された事故シーケンス毎に、新規制基準により義務づけられたシビアアクシデント対策が有効に機能するかどうかについて説明。
	解析コード	4	有効性評価で用いた解析プログラムについて説明。
	原子炉制御室	1	事故発生時にも原子炉制御室が有効に機能することを説明。
	水素対策	1	水素爆発防止対策 (電源を必要としない水素処理装置や水素濃度監視装置など) を説明。
	緊急時対策所	1	重大事故等対処要員が滞在し、プラント情報を把握するための設備や発電所内外との通信設備等及びそれらの運用を説明。
	フィルタ付ベント設備	6	申請時から新たにヨウ素フィルタ (銀ゼオライト)、弁を追加。全体設計、フィルタ性能、運用方法等について説明。
設計基準事故対策 (22回)	竜巻	3	設計竜巻による最大風速を引き上げ (69m/s→92m/s)。
	火災	4	発電所建物の内部・外部で起こりうる火災について説明。
	内部溢水	4	地震による配管破断や津波による浸水、消火活動における放水等により、原子炉施設内部で漏水事象が発生した場合においても、安全上重要な設備の機能が損なわれないことについて説明。
	火山	2	火山灰の堆積厚さについて、三瓶山と大山の火山活動等の不確かさを考慮し、当初申請の2cmから30cmに見直すことを説明。
	外部事象	1	設計上考慮すべき外部事象の選定について説明。
	保安電源設備	0	—
	静的機器の単一故障等	8	静的機器の単一故障設計、誤操作防止対策、圧力バウンダリ、通信連絡設備、監視測定設備、共用設備について説明。
計		84	[年度別] H25:4回、H26:36回、H27:32回、H28:11回、H29:1回

*77回目は、「耐震設計方針」、「有効性評価」の回数にそれぞれ計上しており、計は一致しない。

島根原子力発電所2号機の適合性審査会合一覧

1 新規制基準適合性審査

回数	開催 年月日	議 題		常任委員会報告日 (通算回数)
		地震・津波関係	プラント関係	
1回目	H26.1.16	申請の概要		H26.2.21(1)
2回目	H26.1.28	申請内容に係る主要な論点		
3回目	H26.2.20	敷地周辺陸域の活断層評価		H26.3.18(2)
4回目	H26.3.19	敷地周辺海域の活断層評価		H26.4.21(3)
5回目	H26.4.9	敷地周辺活断層評価(コメント回答)		
6回目	H26.4.16	地下構造評価		H26.5.21(4)
7回目	H26.5.1	敷地周辺陸域・海域の活断層評価(コメント回答)		
8回目	H26.6.27	震源を特定せず策定する地震動		H26.6.12(5)
9回目	H26.7.22		確率論的リスク評価(内部事象PRA)	H26.7.2(6)
10回目	H26.8.5		静的機器の単一故障に係る設計	
11回目	H26.8.28		フィルタベント系(設計、仕様)	H26.8.21(7)
12回目	H26.9.5	地下構造評価(コメント回答)		
13回目	H26.9.11		フィルタベント系(運用、コメント回答)	H26.9.18(8)
14回目	H26.9.30		確率論的リスク評価(地震・津波PRA)	
15回目	H26.10.2		事故シーケンスの選定	H26.10.9(9)
16回目	H26.10.14		有効性評価	
17回目	H26.10.16		外部火災(森林火災)	H26.11.27(10)
18回目	H26.10.23		内部溢水	
19回目	H26.10.30		外部火災(産業施設、航空機墜落)	
20回目	H26.11.6		有効性評価(保管場所、アクセスルート)	
21回目	H26.11.13		有効性評価	
22回目	H26.11.20	地下構造評価(コメント回答)		
23回目	H26.11.21		内部火災	H26.12.17(11)
24回目	H26.12.4		有効性評価	
25回目	H26.12.9		<現地調査>	H27.1.21(12)
-	H26.12.19		有効性評価	
26回目	H27.1.15	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答)		H27.1.21(12)
27回目	H27.1.16		有効性評価	
28回目	H27.1.27		竜巻影響評価	H27.2.13(13)
29回目	H27.2.3	<現地調査>		
-	H27.2.5-6		緊急時対策所	H27.3.10(14)
30回目	H27.2.10		誤操作の防止・安全避難通路等・安全保護回路	
31回目	H27.2.19		圧力バウンダリ	
32回目	H27.2.24		フィルタベント系(主ライン、弁構成)	
33回目	H27.2.26		有効性評価(原子炉格納容器限界温度・圧力)	
34回目	H27.3.3		静的機器の単一故障(コメント回答)	
35回目	H27.3.5	地下構造評価(コメント回答)		H27.3.10(14)
36回目	H27.3.6		有効性評価(燃料プール、運転停止中)	
37回目	H27.3.17		外部火災(コメント回答)	H27.5.20(15)
38回目	H27.3.19		通信連絡設備	
39回目	H27.3.24		竜巻影響評価(コメント回答)	
40回目	H27.3.31		監視測定設備	
41回目	H27.4.2		フィルタベント系(運用方法等)	
42回目	H27.4.7		竜巻影響評価(フジタモデルの適用)	
43回目	H27.4.9		共用に関する設計上の考慮	
44回目	H27.4.21	敷地の地質・地質構造		
45回目	H27.4.24		解析コード	
46回目	H27.5.12	敷地周辺海域の活断層評価(コメント回答)		
47回目	H27.5.15		内部溢水(コメント回答)	H27.6.8(16)
48回目	H27.5.21		フィルタベント系(コメント回答)	
49回目	H27.5.28		誤操作の防止・安全避難通路等・安全保護回路(コメント回答)	H27.6.24(17)
50回目	H27.6.2		解析コード	
51回目	H27.6.9		原子炉制御室	
52回目	H27.6.11		火山影響評価	
53回目	H27.6.12	敷地周辺陸域の活断層評価(重力異常に係わるコメント回答)		H27.6.24(17)
54回目	H27.6.19		解析コード	
55回目	H27.6.23		確率論的リスク評価(コメント回答)	H27.7.21(18)
56回目	H27.6.30		外部事象の考慮	
57回目	H27.7.2		確率論的リスク評価(コメント回答)	
58回目	H27.7.9		フィルタベント系(コメント回答)	H27.7.21(18)
59回目	H27.7.14		内部火災(コメント回答)	
60回目	H27.7.16	敷地周辺陸域・海域の活断層評価(コメント回答)		H27.8.21(19)
61回目	H27.7.21		原子炉建屋内水素対策	
62回目	H27.7.28		内部火災(コメント回答)	
63回目	H27.7.31		原子炉建屋内水素対策	
64回目	H27.8.4		内部火災(コメント回答)、今後のBWRプラントの審査の進め方	
65回目	H27.8.6			

回数	開催 年月日	議 題		常任委員会報告日 (通算回数)
		地震・津波関係	プラント関係	
66回目	H27.9.9	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答)		H27.9.14(20)
67回目	H27.10.15		解析コード(コメント回答)	H27.12.1(21)
-	H27.10.29-30	<現地調査>		
68回目	H27.11.20	敷地周辺海域の活断層評価(国土交通省断層)		
69回目	H27.12.16	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答、西端の評価)		H27.12.16(22)
70回目	H28.1.15	敷地の地質・地質構造(コメント回答)		H28.1.21(23)
71回目	H28.1.29	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答)		H28.2.24(24)
72回目	H28.3.31		今後のBWRプラントの審査の進め方	H28.4.21(25)
73回目	H28.4.21		BWR審査における論点及び今後の審査の進め方	H28.5.31(26)
74回目	H28.4.28		火山影響評価(コメント回答)	
75回目	H28.5.13	震源を特定して策定する地震動		
76回目	H28.5.26	耐震重要度分類		
77回目	H28.7.12	耐震重要度分類	有効性評価(コメント回答)	H28.7.19(27)
78回目	H28.8.25		有効性評価(コメント回答)	H28.9.15(28)
79回目	H28.9.15		有効性評価(コメント回答)	H28.10.7(29)
80回目	H28.11.11	震源を特定して策定する地震動(コメント回答)		H28.11.28(30)
81回目	H28.11.16	耐震設計の論点		
82回目	H28.12.16	基準津波の策定		H29.1.19(31)
83回目	H29.2.17	震源を特定して策定する地震動(コメント回答)		H29.2.24(32)
84回目	H29.6.9	敷地周辺陸域の活断層評価(コメント回答)		H29.6.28(33)

2. 特定重大事故等対処施設及び所内常設直流電源設備(3系統目)に係る審査会合

回数	開催 年月日	議 題	常任委員会報告日 (通算回数)
1回目	H28.9.13	申請の概要	H28.9.15(28)

: 今回の報告対象